

地域の課題解決を図るための事業を支援

### 令和4年度の地域づくり支援事業にむけて

花南地区コミュニティ会議では、自治会や花南地区の各種団体の課題解決を図る事業や、生涯学習・地域交流を深める活動などに対し、地域づくり支援事業として交付金を交付しその活動を支援しています。

この地域づくり支援事業は、各自治会等の要望に基づいて実施しており、来年度の事業に向けて要望を取りまとめていただく必要があります。

要望を取りまとめるに当たっては、自治会内の課題を共有するなど理解を深められ、事業の必要性や緊急性など十分に話し合った上で、花南地区コミュニティ会議に要望書を提出していただくことになります。

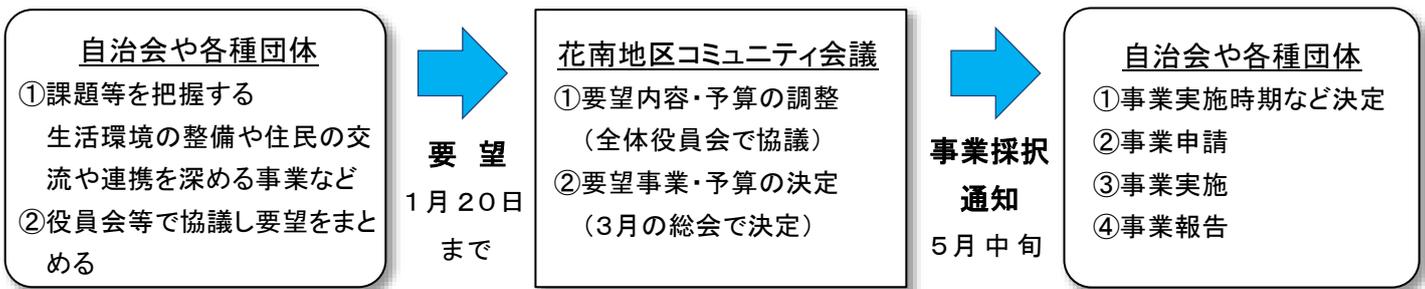
このことは、今月2日、自治会長・行政区長・自治公民館長合同会議で協議し、要望書の提出期限を令和4年1月20日としました。

#### ◇地域づくり支援事業メニュー◇

項目	主な事業内容	交付率
道路整備	舗装、舗装修繕	100%
生活環境整備	街路灯、側溝整備 カーブミラーなど	100%
	ごみ集積所、掲示板など	75%
自治公民館整備	建物修繕、備品購入など	50%
防災対策	防災資機材購入	75%
	研修会	50%
交通安全対策	注意啓発看板など	100%
団体活動支援	住民交流(新規)、伝統芸能等の保存伝承活動等	75%

※交付率＝事業費に対する交付金の交付する割合。  
千円未満は自治会等の負担となります。  
※事業主体は自治会や各種団体です。

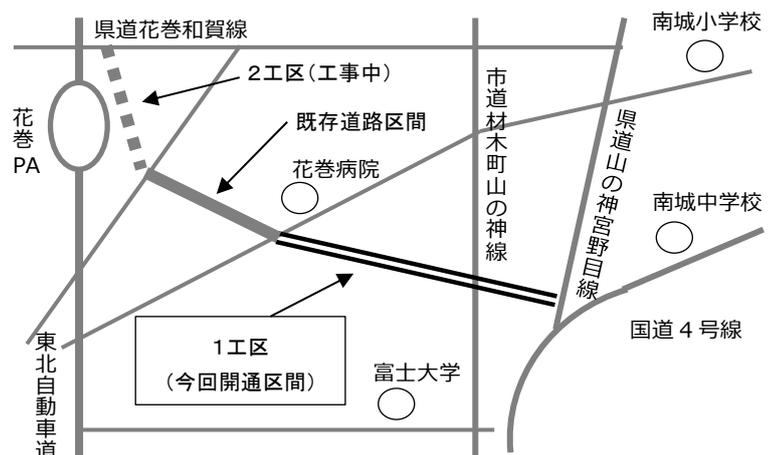
#### ○地域づくり支援事業の流れ



#### 都市計画道路山の神諏訪線（1工区）が12月24日に開通します

現在整備を進めている（仮称）花巻PAスマートインターチェンジへのアクセス道路となる「山の神諏訪線」の1工区（国道4号線側）が12月24日に開通し、国道4号線から既存道路区間まで通行可能となります。

同路線の2工区（スマートインターチェンジ側）は令和4年度の開通、スマートインターチェンジは令和5年度の整備を予定しています。



## まちづくり先進地研修で宮古市を訪れました

花南地区コミュニティ会議と花南地区自治公民館連絡協議会の役員ら21人は11月9日、東日本大震災の津波被害から着実な復興を遂げた宮古市を視察訪問しました。

視察先は宮古市役所本庁舎と保健センター、市民交流センターの複合施設「イーストピアみやこ」。旧宮古市役所庁舎は津波の被害を受けたため、宮古駅裏へ新築移転。計画から用地取得、庁舎建築を約4年で整備し、宮古駅前広場と跨線橋自由通路で繋ぎまちと人の賑わいを創り出しています。

施設見学では、中嶋市民交流センター所長から分かりやすく丁寧な説明をいただきました。



防災プラザで津波被害について説明を受ける参加者たち



市民交流センターのホールで施設の概要説明を受ける参加者たち

市民交流センターは後に宮古中央公民館の機能を集約。施設と駅がつながっているため鉄道・バス等の交通の利便性が高く、各種サークルなどの生涯学習や会議、集会で市民の貸館利用が盛んに行われており、まちの活性化になくてはならない施設になっているそうです。

また、併設されている防災プラザで、実際に津波被害を体験し、復旧活動を行った中嶋所長さんから宮古市の津波被害、復興の足取りを説明していただき、防災学習としても充実した研修となりました。

### 冬の交通事故防止県民運動

冬季は、積雪や凍結による道路環境の悪化に伴う交通事故の発生や、冬休み中の子どもが関係する交通事故の発生が懸念されます。交通ルールの遵守と交通マナーの実践により、交通事故防止の徹底を行いましょう。

冬道の安全運転（いち、にっ、さん）運動

1. 一割以上のスピードダウン
2. 2倍以上の車間距離
3. 3分以上早めの出発

～ ゆとりある 心と車間の ディスタンス ～

桜町駐在所管内における交通事故発生状況

R3.10月末現在

○人身事故件数	9件（前年比－6件）
傷者数	11人（前年比－6人）
○物損事故件数	118件（前年比＋6件）

### 年末年始の休館のお知らせ

花南振興センターと花南地区社会体育館は、年末年始の次の期間、休館します。

休館期間 令和3年12月29日（水）から  
令和4年 1月 3日（月）まで

令和4年は1月4日から通常どおり利用できます。各施設の利用にあたっては、備え付けの感染症対策チェックリストを参考に、基本的な感染症対策をよろしくお願いいたします。

花南コミュニティだよりの次号は、令和4年1月15日の発行となります。来年もよろしくお願いいたします。地域の皆さま、よいお年をお迎えください。（事務局一同）

